

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター知多市立やまもも園		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日		～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 28
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の意見交換は活発で、連携が取れている。	毎週行なう火曜ミーティングでは事前に議題を募っておき、限られた時間ではあるが集中して話し合いが出来る。	短時間保育士との情報共有は紙面報告だけでなく、報告日を作り対面で周知する。
2	各種マニュアルを整えている。	マニュアルの読み合わせや、見直し、確認の場を作る。	マニュアルの理解、実践が伴うようにシミュレーションを行い振り返りの機会を持つ。
3	保護者からの相談に乗ったり一緒に考えていくようにしている。	担任だけでなく、園長、児童発達支援管理責任者、相談員、心理士、言語聴覚士等様々な職員が相談に応じたり助言をおこなったりする。 ニーズに合わせて、併行通園や預かり保育、一時保育の利用などの対応をしている。	園児のみの相談に限らず、兄弟や家庭の相談も聞き取っているようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	物的環境は、改善がすぐには難しいが、子どもたちが快適に生活できるように工夫する。	施設の古さ、金銭面からバリアフリーや、暖房、冷房などの環境が整わない。また事業を広げるには駐車場や、部屋などが不足している。	市に報告し相談しながら取り組んでいく。
2	経験年数の長い職員が減ってきている。	多様なニーズにより、支援の必要な児が増えているので支援のスキルアップが必要。	計画的な資格の取得や職員の養成。 研修や事例検討などのスキルアップの機会を作る。
3	家族支援プログラムを使った家族支援は弱い。	自主的に資格取得した職員はいるが、組織として継続していきたくない。	ファシリテーター取得者を中心に養成講座を行う。